



のとちょう 議会だより

発行：能登町議会 発行日：平成 28 年 5 月 1 日 編集：能登町議会広報編集特別委員会



弓引き祭り ※写真の説明は P 8 下段参照

第 44 号の内容

- 3 月定例会議の一般質問・・・・・・・・・・ P 2 - 4
- 議会議案・・・・・・・・・・ P 5
- 3 月定例会議の議案質疑・・・・・・・・・・ P 6
- 常任委員会レポート・・・・・・・・・・ P 7
- 議会活動と編集後記・・・・・・・・・・ P 8

第44号

いっぱん質問

3月定例会議の一般質問



酒元 法子 議員

問 子育て支援策等で学校給食費の無料化を

答 無料化には多額の経費が必要で

難しいと考えている



おさかな給食の献立は「イカ」かな？

問 大半の保護者の方々は若年層で重要な働き手であるので、子育て支援策や流出対策の観点から給食費を無料化にできないか。

答 町長

施設運営費に食材費等を加え、無料化すると5千万円を超え非常に影響額が大きいので、難しいと考えている。

しかしながら、生活保護及び低所得者世帯や多子世帯には、就学援助制度や児童手当制度等に給食費負担分の支援措置がなされているので、理解いただきたい。

問 給食を食文化の継承や高齢者交流に利用を

答 高齢者交流の場としての利用は検討したい

問 各地区で昔から食されてきた食材等を町の財産とし、子どもたちへ、食文化として継承できないか。

また、少子高齢化が進み、独居高齢者の孤立予防が重要であるので、給食を利用して、学校で世代間交流の場ができないか。

答 教育長

食文化の継承については、地域文化や伝統に理解と関心を深めることは高い教育効果があると期待している。現在、関係機関の協力のもと行っている、おさかな給食事業のほか各校で工夫した郷土料理や地場産食材を使った献立で理解を深めている。

学校の食育推進を図る学校給食を高齢者に供するのは難しいが学校施設利用については、運営に支障のない範囲で可能であり、世代間交流は、教育的効果も大きいので、地域実情や需要を踏まえて検討したい。



田端 雄市 議員

問 シルバー人材センターの機能強化の考えはあるか

答 センターの業務の拡充に積極的に支援したい

問

高齢者の生きがいある生活に繋がる多様な働き方へ向け、シルバー人材センターの一層の機能強化を図れ。さらに労働時間の緩和に対応する社会保険加入の働き方へ、県をリードする議論を！

答 町長

センターには、介護や医療などの人手不足分野、あるいは育児等の現役世代を支える分野など、新たな業務の開拓へ向け、努力を期待したい。労働時間緩和に伴う派遣業務などについては、石川県シルバー人材センター連合会とも連携して検討し、意欲ある高齢者が生きがいを持って働くことが地域の活性化にもつながるとの視点で取り組みたい。



シルバー人材センター会員による作業風景

問 集落の可能性を掘り起こす、集落支援員の事業を取り入れよ

答 集落支援員の事業採択に取り組みたい

問

能登町創生人口ビジョンの目標を確実に遂行するため、集落のあり方を住民自らの課題とし、それを町が目配りし、施策を講じる、その橋渡しとなる集落支援員の事業を導入せよ。

答 町長

この制度は、地域と行政が一体となって協働のまちづくりを進めることが可能であり、さらに町の創生総合戦略の施策を具体的に実施するためには、地域の実情に詳しい集落支援員の活動は効果的と考える。集落の代表である区長会の方々と協議し、連携できる体制を整え、取り組みたい。

問 町の創生・活性化に支援制度の充実を

答 奨学金制度に加え平成 28 年度創業助成金を新設した



市濱 等 議員

問

若い人たちが取り組むあらゆる職業、例えば介護士、建築士において、医師・看護師奨学金制度並びに支援制度はできないか。

また、新しく起業する若者を支援する制度の創設を。

答 町長

奨学金貸与条例があり、現在、10名の学生に対し運用している。今後、制度の周知に努める。金融機関とも連携して発展性を持って創業する新規事業者、町内の既存事業者の継承者に最大300万円の助成と借り入れ利子に対しても補填する。雇用促進助成金でUIターン者雇用に対して

問 町の創生・活性化に道路インフラ整備を

答 県道35号線については、強く要望する

問

県道35号線道路改良工事が停滞している。早期実現を。

珠洲方面から観光地九

十九湾、縄文真脇へのアクセスが悪い。特に、今後、道の駅整備等、観光客誘致においても九十九



真脇トンネル拡幅工事本格的に着工

も助成金制度がある。2年目3年目にも助成金の支給がある。

その他質問

問 若者が集い楽しめる施設整備を町が出来るか

近隣市町にない娯楽施設、ボウリング場等を町営でできないか。

若い人の出会いの場ができ、婚活支援策にもなるのではないか。

答 民間企業で整備運営を融資・税の優遇支援はある

町長

第二次総合計画では新規分野の開拓、創業、起業を目指す人に支援をする。レジャー施設についても門戸を広げて積極的に誘致をしたい。用地の確保インフラ整備、許認可等分り難い点も多いことから、企画財政課を中心にワンストップ体制を確立する。誘致後もしっかりとフォローする。

(その他の質問者) 金七 祐太郎 議員)

「議会議案」

3月議会定例会議における議員提出議案

●発議第1号 軽減税率の円滑な導入に向け事業者支援の強化などを求める意見書の提出について

■要望内容

第一点目

中小・小規模事業者等に対して複数税率に対応するレジの導入支援を行うこととされているが、必要な財源を確保の上、補助を希望するすべての事業者に対して実施すること。

第二点目

電子的受発注システムを導入している事業者のシステム改修等についても適切な補助を行うとともに、費用が高額となる場合は低利融資など必要な支援を行うこと。

第三点目

地域の中小企業団体等の協力を得て、中小・小

規模事業者等の理解を深めるため講習会の開催や相談窓口の設置など積極的な取り組みを行うこと。

この場合、巡回指導や専門家の派遣などアウトリーチによるサポート体制を構築すること。

（注）

「アウトリーチ」 公共機関の現場出張サービスなどの意味

●発議第2号 地方会計の整備促進に係る意見書の提出について

■要望内容

第一点目

統一的な基準による財務書類を可能な限り早期に作成するため、その前提となる固定資産台帳の整備に取り組む必要があるが、同台帳の整備には相当な作業コストを要するため、団体の財政力に応じた適切な財政措置を講ずること。

第二点目

講ずること。

第二点目

統一的な基準による財務書類を作成するに当たり様々な相談内容に対応できるように、公認会計士等の専門家を派遣するなど、実務面でのきめ細かな支援を実施すること。

第三点目

統一的な基準による財務書類を作成・活用するためには複式簿記の知識等が必要となるため、自治大学校等における自治体職員向けの研修をさらに充実するとともに、今後、財務書類を議会審議等で積極的に活用することができるよう、地方議員向けの研修も充実すること。

以上、2件を議会議案として、3月18日に追加提出し原案のとおり可決され、各関係機関に提出した。





議案をチェック

3月定例会議の議案質疑

平成28年3月定例会議の議案質疑ということ、5名の議員が様々な角度から質問した。

主な質疑、答弁は次のとおり。

岡宮田勝三 議員
各種式典事業を説明せよ。

岡教育委員会事務局長
391千円の予算は成人式開催にかかるもので、謝金及び写真代金等の経費である。

岡宮田勝三 議員
今年の成人式は該当者に案内漏れがあった。今後の対応策は。

岡教育委員会事務局長
関係機関、関係部署と連絡を密に連携して対応したい。

岡向峠茂人 議員
交付税は今後どのような

な推移で減っていくのか。

岡企画財政課長

合併して10年間は交付税をプラスしてあげますよという制度でしたが、平成27年度から5年かけてプラスの部分が減る。人口減少分で約3億、合併査定替えて2億3千万円程度の減額を予想している。毎年の地財計画や町の特異要因を見込み予算化しており、確定しましたらその都度案内させていただきます。

岡向峠茂人 議員
婚活支援事業の成果と事業内容を説明せよ。

岡町民課長
独身男女の出会いの場の創出ということで婚活パーティー、イベント、セミナー等を開催している。

岡環境対策課長
珠洲市と協定してクリーン組合を組織しており、今後の方向性を見出すためにコンサルに業務委託して取り組んでいる。成果について年間2組を目標にしているが、現在は1組も至っていない。

岡向峠茂人 議員
漁船取得等基金利子補給は対象の船が決まっているのか、どれくらいのトン数の船なのか。

岡農林水産課長
14隻は決まっております。トン数は決まっていない。

岡市濱等 議員
奥能登クリーン組合の負担金の件で、石川北部RDFの事業は平成29年度から5年間延長するが、今後の事で研究費をもう少し盛り込めばどうか。

岡環境対策課長
珠洲市と協定してクリーン組合を組織しており、今後の方向性を見出すためにコンサルに業務委託して取り組んでいる。

委託して取り組んでいる。**岡田端雄市 議員**
教育振興費と関連した形で就学支援として、町独自のものはあるのか。

岡教育委員会事務局長
小学校を対象にして補充学習サポート事業を実施しているほか、福祉事業では社会福祉協議会と協力してサマースクール（低所得者世帯学習支援事業）を実施している。

岡榑原安弘 議員
新年度予算の中で、総合戦略の主な事業や取り組みがどの部分に計上されているのか。

岡企画財政課長
人口減少対策として3つの積極戦略と人口減少に対応したまちづくりを行う調整戦略を進めて行くこととしている。

一つ目の積極戦略は、『能登の里山里海を活かし、人材の育成と安定した雇用ができる「しごと」をつくる』であり、畜産事業など8事業で、63、662千円。

二つ目の積極戦略は、『人と人の交流を深め、賑わいを創出し、能登町で暮らす「ひと』の流れをつくる』であり、借上町営住宅制度など18事業で、79、434千円。

三つ目の積極戦略は、『若い世代の希望に叶った結婚・出産・子育てができる環境をつくる』であり、すこやか赤ちゃん祝い金など9事業で80、032千円。

調整戦略では、『ひと』と『地域』の絆による地域力を高め、安心して暮らし続けられる『まち』をつくる』であり、公民館特色ある活動事業など9事業で57、114千円である。

子育て関係の予算が目立っているので、若い方々に周知を願いたい。

岡健康福祉課長
対象者には個別に案内し町の広報やホームページに掲載して周知を図りたいと考えている。

調整戦略では、『ひと』と『地域』の絆による地域力を高め、安心して暮らし続けられる『まち』をつくる』であり、公民館特色ある活動事業など9事業で57、114千円である。

調整戦略では、『ひと』と『地域』の絆による地域力を高め、安心して暮らし続けられる『まち』をつくる』であり、公民館特色ある活動事業など9事業で57、114千円である。

調整戦略では、『ひと』と『地域』の絆による地域力を高め、安心して暮らし続けられる『まち』をつくる』であり、公民館特色ある活動事業など9事業で57、114千円である。

調整戦略では、『ひと』と『地域』の絆による地域力を高め、安心して暮らし続けられる『まち』をつくる』であり、公民館特色ある活動事業など9事業で57、114千円である。

調整戦略では、『ひと』と『地域』の絆による地域力を高め、安心して暮らし続けられる『まち』をつくる』であり、公民館特色ある活動事業など9事業で57、114千円である。

調整戦略では、『ひと』と『地域』の絆による地域力を高め、安心して暮らし続けられる『まち』をつくる』であり、公民館特色ある活動事業など9事業で57、114千円である。

「第1回 能登町議会 2月会議」

平成28年2月5日に第1回能登町議会2月会議が開かれました。可決された議案2件は次のとおり。

●議案第1号 平成27年度能登町一般会計補正予算（第5号）

●議案第2号 財産の取得について（能登町消防宇出津分署移転建設の用に供するため 土地50筆）

「お見舞い申し上げます」

「平成28年熊本地震」に被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興をお祈りします。

総務産業 建設委員会

國盛孝昭(委員長)
 椿原安弘(副委員長)
 田端雄市・市濱等
 酒元法子・河田信彰
 宮田勝三

3月8日、9日に委員会を開催し議案39件、請願1件を審議、全会一致で可決すべきものと決定した。審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●一般会計

問 能登牛認定店促進事業の事業内容について。また、販売店や飲食店の流通が少ない。供給量を増やすなど関係機関への要望を強化せよ。

答 能登牛銘柄推進協議会が認定する、能登牛認定店制度への登録費用の半額を助成するもの。町内

の販売店、飲食店の登録店を15店舗増やす。
 まだ、能登牛全体の飼養頭数が少ない、県も増頭への支援事業の強化を図るとして、千頭体制に向けて整えている。

問 町営住宅借上事業について、

答 Uターン者や移住者等の一戸建ての需要については、空家情報などで受け入れ態勢が整っている。これに対して、借上町営住宅は、町外からの移住者やUターン者等の就業者への受け皿として、住宅を確保するものである。入居者については、通常の町営住宅は募集をかけているが、この住宅は募集をせずに関係各課の受け皿として情報を集めながら、しばらくは町の裁量で入居者を決

めて受け入れるものとする。

問 都市環境整備事業費の公有財産購入費について、どここの場所でのどのような事業を予定しているのか。

答 小木地区、市之瀬(九十九湾遊覧船周辺地)において、観光交流センター建設予定地の用地取得費である。

この整備計画は、地区代表者、関係団体者等で構成する策定委員会で計画され、今後、5年間をかけて事業を進める。その内容は、3つの目標を掲げ、観光客の入り込み客数を増やす。人口の減少率・幅を減らす。イカの町として「イカの駅」を整備し、観光振興を図るとともに小木地区の整備に取り組みものである。

●請願第1号 事業の採択と早期工事に係る請願書(予防山事業)を採択。

教育民生 委員会

金七祐太郎(委員長)
 小路政敏(副委員長)
 南 正晴 ・ 向峠茂人
 鍛冶谷眞一・久田良平

3月8日に委員会を開催し付託された議案14件を審議。全会一致で可決すべきものと決定した。審査過程での主な質疑応答などは次のとおり。

●一般会計

問 婚活支援事業で出合いの場、イベント、セミナーとあるが前年度の参加人数は。また年代別では。

答 平成27年度は、5回実施し、参加人数は、112名で、男性68名女性44名です。年代別では、男性が30代、40代が多く、女性は20代の参加が多い。

問 結婚新生活支援事業について詳しく説明願いたい。

答 新たに結婚される方の二人の控除後の所得の合計が300万円以下で、親と別に家を新築する場合や、アパートを借りる場合に18万円を限度に助成する制度である。

問 児童手当の支給先を変更不能いかな。

答 児童手当は、所得の高い方が支給対象者となりますので所得の低い方に振り込むことはできない。

問 在宅医療・介護連携推進事業について説明願いたい。

答 今後の介護を考える

と施設から在宅という方向になってきている。在宅での医療的な処置を考えて、医療と介護との連携を推進する事業である。

問 太陽光発電の助成金額と助成件数は。

答 助成金額は、限度額20万円で1キロワット5万円である。件数は、平成23年度からの助成で平成26年度末で53件である。

問 体育施設工事費15、100千円の内訳は。

答 内浦体育館の消火栓ポンプの入れ替え、キュービクルの入れ替え経費である。

1月から3月の主な議会活動

- 1月8日 交通安全祈願祭
 - 1月9日 町消防団出初式
 - 1月12日 議会運営委員会
 - 1月15日 全員協議会
 - 1月20日 広報編集特別委員会
 - 1月25日 総務産業建設常任委員会
 - 1月29日 議会運営委員会
 - 2月5日 全員協議会
 - 2月5日 第1回能登町議会2月会議
 - 2月5日 立志の集い
 - 2月12日 石川県町村議会議長臨時総会
 - 2月16日 町会区長会連合会役員との懇談会
 - 2月29日 議会運営委員会
 - 3月3日 全員協議会
 - 3月4日 全員協議会
 - 3月7日 第2回能登町議会3月定例会議（議案上程）
 - 3月8日 常任委員会
 - 3月9日 常任委員会
 - 3月14日 第2回能登町議会3月定例会議（一般質問）
 - 3月18日 第2回能登町議会3月定例会議（採決）
- 各学校卒業式

次の定例会議は6月6日開会です。

議会の日程については、決定しだい町のホームページ、または有線テレビでお知らせしています。
ぜひ傍聴にお越しく下さい。議場が昨年3月より能都庁舎に変わっております。ご意見などありましたら、下記事務局へご連絡ください。

編集後記

議会広報の委員として、皆さんの発言を耳で聞いていた時と、文字として会議録の原稿を見たときの主旨の理解に差異を感じる時があります。しっかり聞いていたつもりでも文字にして見たときに改めて、「あの時の発言の意味はこうだったのか」と。その場で言葉の意味がよく理解できず、あいまいに返事をしてしまふときはありませんか。言葉の意味が理解できないときは聞き返すようにします。

委員 南 正晴

広報編集 特別委員会

委員長 田端 雄市
副委員長 金七祐太郎
委員 小路 政敏
酒元 法子
椿原 安弘
南 正晴

発行：能登町議会 編集：能登町議会広報編集特別委員会
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町字出津新1字197番地1
TEL (0768)62-8540 FAX (0768) 62-8541

※表紙の写真は、能登町十郎原（西谷）の日桂神社で4月3日に行われる。平家の落武者が移り住んだと言われ、鎧・兜姿の氏子たちの当たり矢の姿で豊凶を占う。